

経営比較分析表（平成29年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市国民宿舎 松寿閣

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,019	88	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
5,541	利用料金制	41.8
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	83.3	有

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

分析欄

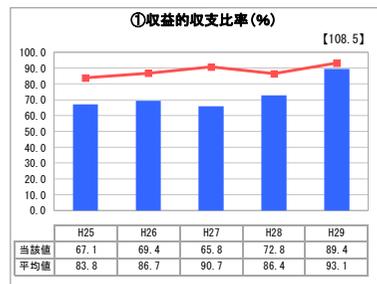
1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率については、平成29年度に若干の改善傾向は見られるものの、過去5年間について、いずれの年も100%を切っていることから、慢性的な赤字であり、類似施設の平均値と比較しても全ての年度で収支比率は低い状況である。
 また、⑥売上高GOP比率や⑦EBITDAの数値は低く、平成28年度より平成29年度の方が数値が悪化していることから、現状では民間企業への譲渡をできるような経営状況であるとは言いがたく、今後、ハードとソフトの両面で経営改善に向けた取組が必要である。

2. 資産等の状況について
 当該施設は、現在の状態が稼働し20年を経過していることから、施設の老朽化が進行していることに加え、施設設備としても宿泊者の求めるニーズに十分に対応できているとは言いがたい状況である。大規模な設備改修を現在までほとんど行っていない状況であるが、平成28年度で起債の償還が完了したことから、各客室に浴室設備がない、洋室が少ないという利用者の声に対応するために、平成30年度の事業として、和室をユニットバス付きの洋室へ改修するという工事を進めている。こういった客室洋室化などの売り上げへの影響を見極めながら、平成32年度以降の計画を検討し、経営戦略に盛り込む予定である。

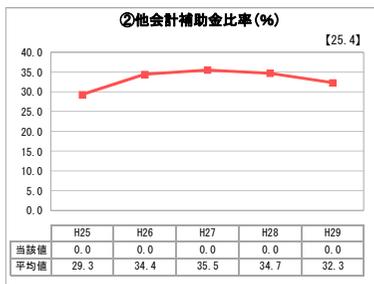
3. 利用の状況について
 ③施設と周辺地域の宿泊客数動向については、平成27年はどちらも下落、平成28年は周辺地域の宿泊客数は持ち直し、当該施設においては減少となったが、平成29年度は周辺施設は減少し、当該施設は増加に転じている。このことから、平成29年度は、周辺地域における宿泊需要は低下し、当該施設においては宿泊需要が高まっている状況であると考えられるが、現在の施設設備の状況では、宿泊者の需要に十分対応することは難しい状況である。リピーターの獲得に加えて、海外からの観光客等の需要を取り込むために、平成30年度は、客室改装工事を実施しているところである。

全体総括
 収益的収支比率、売上高GOP比率やEBITDAの値が低く、民間譲渡をできるような状況であるとは言いがたい状況が続いている。このような状況の改善のために、客室の洋室化といった施設の改修工事を進めているところであるが、それと並行して、当該施設は指定管理者にて運営を行っていることから、指定管理者側と協議を行いながら、協議結果を平成32年度を目標に策定を予定している経営戦略の中に盛り込むことで、中長期的な収支計画を取りまとめ、その経営戦略に基づき、更新投資も計画的に実行することで、健全な経営状態を目指す予定である。

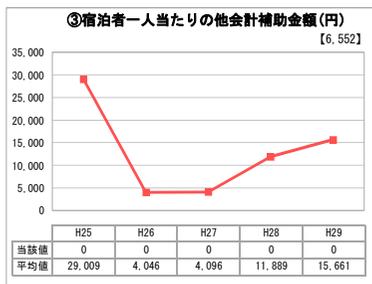
1. 収益等の状況



「経常損益」

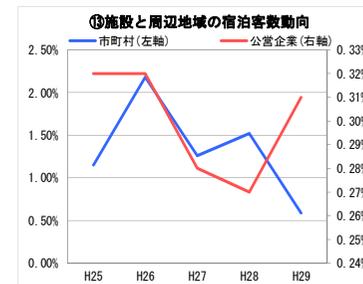


「他会計補助金割合」

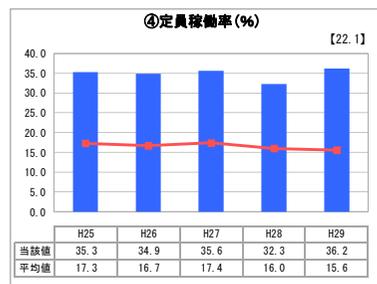


「他会計補助金額」

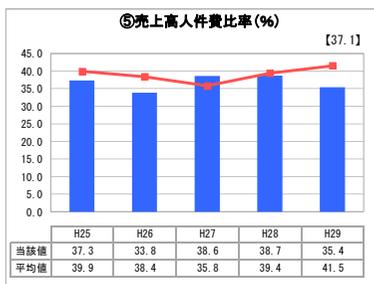
3. 利用の状況



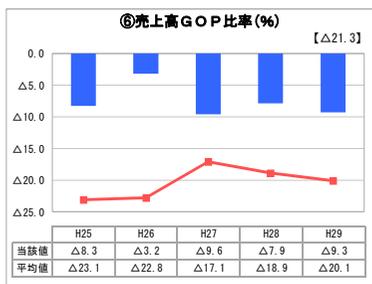
「都道府県県宿泊者数に対する割合」



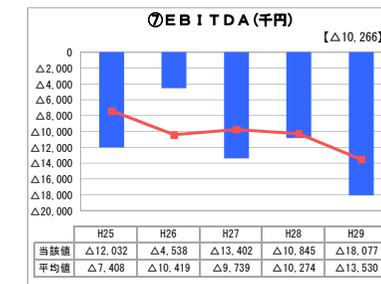
「施設の効率性」



「人件費負担」

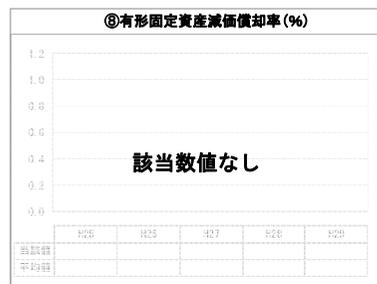


「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



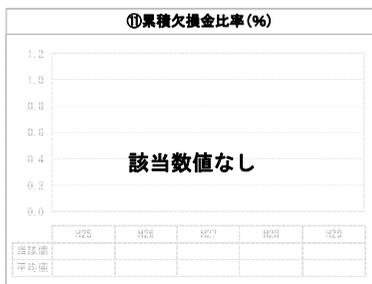
「施設全体の減価償却の状況」

⑨施設の資産価値(千円)

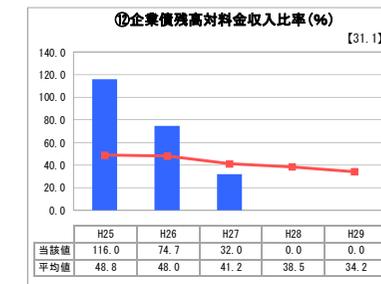
176,491

⑩設備投資見込額(千円)

50,112



「累積欠損」



「債務残高」